

鹿島小だより

第50号 平成30年12月11日(火)発行 文責:鈴木

【電話】0244-46-2240【ホームページ】<https://minamisoma.fcs.ed.jp>

平成30年度重点目標「話し合おう やってみよう」

スクールチャレンジ南相馬大会で優秀プレゼン賞!



1日(土)には原町生涯学習センターでスクールチャレンジ南相馬大会が行われ、午前中は市内の各小学校、午後には中学校の代表が集まりました。本校からは6年生の齋藤さん、只野さん、阿部さんの3人が出場しました。小学校の部は「身の回りに役立つペッパー」というテーマで、本校の3人は、相双地方への観光客誘致に向けた内容で、地域の名所や歴史、伝統文化などについてペッパーを使ってプログラミングし発表しました。たくさんの観客の前でも、しっかりと自信を持った発表でした。審査の結果、本校代表は「優秀プレゼン賞」をいただきました。他の小学校の皆さんも、それぞれのテーマに沿って素晴らしいものばかりでした。

私たちの暮らしと税金

6年生は社会科の授業で、税金について学習しています。3日(月)には市役所税務課の小守さんと佐藤さんにお越しいただき、租税教室を行いました。私たちは毎日の暮らしの中で、様々な税を負担しています。子どもたちにとって一番身近な税は消費税でしょう。その他にも所得税や住民税、自動車税、固定資産税、酒税などがあります。税金は警察や消防の仕事をはじめ、道路や公園の維持管理、ごみの収集など、なくてはならないものに使われています。義務教育で使用する教科書も、無償で提供されています。「納税」は、「勤労」「教育」と並んで、日本国憲法に提示されている国民の三大義務の一つです。中学校に行くと、社会科の公民的分野でさらに詳しく学習しますが、税金がどのように使われているかを見極める国民になることも大切です。最後には、1億円の束を持たせてもらいました(もちろんレプリカ)。重さは10kgあるそうです。



《裏面もご覧ください》

学校評価アンケートの結果について

11月に保護者の皆さんに学校評価アンケートを実施しました。お忙しい中でご協力いただき、本当にありがとうございました。その結果がまとまりましたのでお知らせします。おおむねどの項目でも良好なポイントでしたが、この結果をもとに、良かった点はさらに良くなるように、そうでなかった点は少しでも改善されるように、全教職員で指導や対応に努めて参ります。

◆ 評価が高かった項目

- ① 子どもたちは、楽しく学校に通っています。
- ⑧ 教師は、子どもの頑張りを認めてくれています。
- ⑨ 学校は、授業や学校行事など、学校の様子をできるだけ参観する機会を設けています。
- ⑩ 学校は、様子が分かるように参観や便りなどを工夫しています。

これらは、他の項目と比べると得点が上位にありました。児童へのアンケートを見ても、「学校に行くのが楽しい」「先生方は頑張りを認めてくれる」「いろいろな行事に進んで参加し楽しかった」「家では、学校の様子を話したり学校からのお便りを見せたりする」などのポイントが高い傾向にありました。保護者の皆さんも、児童と同じような受け止め方をしているものと思われる。

◆ 評価が低かった項目

- ⑤ 子どもたちは、自分から宿題や家庭学習に取り組んでいます。

この項目を児童へのアンケートと比較してみると、「授業中は話をよき聞き、家では宿題や家庭学習をしている」のポイントが低い傾向にありました。授業はもちろんのこと、家庭学習の仕方や読書の呼びかけなどを含めて、学校と家庭が連携しながら、よりよい学習環境の在り方について児童に働きかけていく必要のあることが分かりました。